

案件名

No. 5 平成17年度市政運営方針・重点施策（案）

募集期間

平成16年11月1日（月）～30日（火） 終了致しました

担当課

政策形成課 0554-43-1111（内線171）

意見数

1件

募集の趣旨

本市は、「個性輝く創造社会」「持続可能な定常社会」「互恵・共生社会」という3つの目指すべき地域社会像を掲げて、市政運営の基軸に据えています。

これら目指すべき地域社会像の具現化を目指すとともに、限られた財源と人的資源を有効に活用し、市民満足度の高い行財政経営に取り組んでいくため、平成17年度の市政運営方針・重点施策（案）を策定しましたので意見募集を行います。

寄せられたご意見と都留市の考え方

平成16年11月1日（月）～30日（火）までの間、意見の募集を行いました。寄せられたご意見の概要とこれに対する市の考え方を下記のとおり公表します。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられた意見の概要

重点施策項目4の『ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進』について

(質問・意見1)

ユニバーサルデザイン指針の中以外に現在ではどういった試みや施策があり、将来的にはどういったまちにしたいですか。

(質問・意見2)

「市民参加による公共施設のユニバーサルデザイン化推進」とあるが、実際に市民からの意見の募集は行うのですか。

(質問・意見3)

歩車道や施設においても整備は実行するのですか。

市の考え方

まず、最初の質問・意見ですが、ユニバーサルデザインの指針以外のまちづくりに対する目指すべき将来像や施策ですが、本市では今日の社会経済情勢が大きく変化し、閉塞感と不透明な状況の中、時代を見据え、舵取りを誤らないよう『個性輝く創造社会』、『持続可能な定常社会』、『互惠・共生(ごけい・きょうせい)社会』という3つの目指すべき地域社会像を掲げ、協働の理念のもとに、5つの体系からなる行動計画

1. 人・まち・自然にやさしいグリーン・アクションつる(環境・安全のまち行動計画)
2. 人・まち・自然がいきいきウェルネス・アクションつる(健康のまち行動計画)
3. 人・まち・自然のふれあいケア・アクションつる(福祉のまち行動計画)
4. 人・まち・自然が元気メイク・アクションつる(産業・基盤整備のまち行動計画)
5. 人・まち・自然とまなぶライフ・アクションつる(教育・文化のまち行動計画)

を策定し、市民一人ひとりが主役のまちづくりを目標に取り組んでいます。

これらの内、すべての人々が個性と能力を生かして、共に認め合い、支え合い、生きがいと働きがいを持って、共生していく『互惠・共生社会』の具現化を目指し、情報や人々が、自由に、活発に行きかうネットワーク社会を構築する地域情報システム基盤整備(地域イントラネット整備など)や、市民と行政による協働型地域づくりシステムの構築(協働のまちづくり事業の推進など)、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインの導入などの施策を推進しています。

2つめの質問・意見ですが、市民からの意見の募集については、すでに、本市ホームページのユニバーサルデザインのページ上で実施しています。意見の提出方法は、郵送、ファックス、Eメールなどでお寄せいただく方法をとっています。

今後は、市の広報などにも市民の皆さまに広くお知らせをして、多くの方に意見をいただけるように検討していきます。

3つめの質問・意見ですが、歩道については、「都留市ユニバーサルデザイン指針」に基づき、歩きたくなる『みち』づくり、歩きやすい『みち』づくり、わかりやすい『みち』づくりの3つの視点を取り入れた歩道整備に努めております。

特に、谷村地区では、平成16年度より、市民の歩くニーズに応え、歩くことを通じた健康づくりや、障害のある方やお子さん連れの方も安心して散歩できる歩道となる国土交通省の補助事業「ウォーキングトレイル(歩く小径)整備事業」と、まちの「憩の空間(小公園・休憩所)」の整備を図るポケットパーク事業を組み合わせながら、ゆとりとうるおいを実感できる歩行空間の整備を進めております。

公共施設についても、同指針に基づき、利用者にわかりやすい案内板や、利用者に併せたカウンターの設置、車椅子の方や高齢者、赤ちゃん連れのお父さん・お母さんにも使いやすい()多目的なトイレな

どの整備などに努めております。

市立病院では、病室の段差解消のほか、わかりやすい案内板、手すり、多目的トイレ、夜間の出入り口に自動ドアを設置するなどユニバーサルデザインの導入に努めており、本年度、都留文科大学では、1号館にエレベーターを設置したほか、新図書館には誰でも利用できる多目的トイレを整備いたしました。

このように、既存の施設については、厳しい財政状況の中、出来る限り、順次改修を行うと共に、新設する施設においてもユニバーサルデザインを積極的に取り入れ、利用したくなる『施設』づくりに向けて取り組んでおります。

ユニバーサルデザインとは

「はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人にとって安全・安心で利用しやすいように、建物、製品、サービスなどを計画、設計する」考え方。一般に「すべての人のためのデザイン」という。

地域イントラネット整備

市内の公共施設を光ファイバー専用線によるイントラネット網に接続し、市民への各種行政情報サービス（テレビ会議システムを利用して、遠隔行政、健康・福祉・介護相談や災害時のための避難者支援情報など）が提供可能な高速情報ネットワークシステム。

多目的トイレ

障害者や高齢者、子どもを連れた親子など、誰もが使いやすい広いトイレのこと。

- 関連情報はこちら -

[平成 17 年度重点施策](#)

(http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/div/public/pdf/h17_jyuuten/h17_itirann.pdf)

[都留市ユニバーサルデザイン](#)

(http://www.city.tsuru.yamanashi.jp/forms/info/info.aspx?info_id=3033)